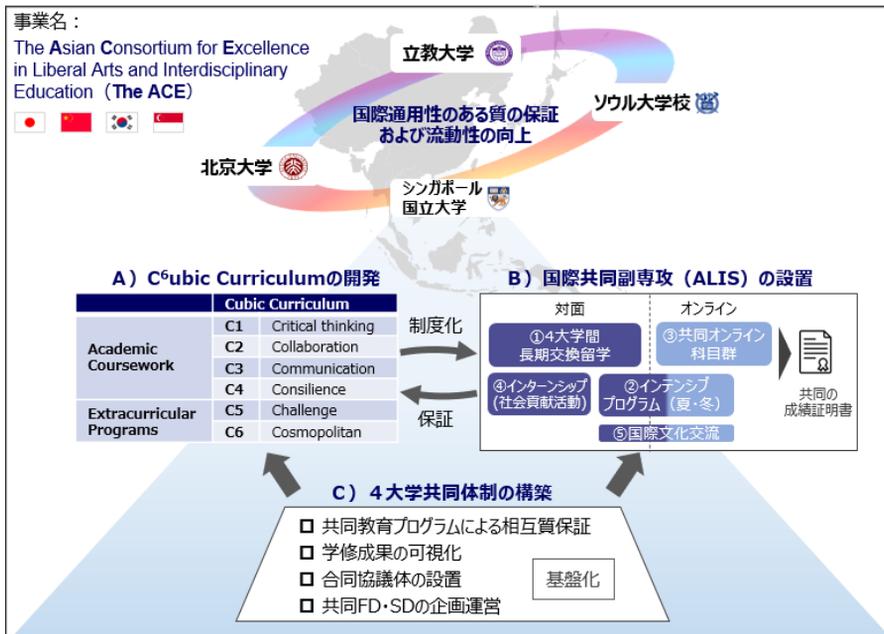


【事業の名称】(選定年度2021年度・(タイプB①))

リベラルアーツの高度化に向けたアジア4大学共同体－国際共同副専攻によるグローバルリーダー育成

【交流推進事業の概要】

事業の概要



【交流プログラムの概要】

3か月間以上の相互交換留学による交流を基盤とし、4大学の教育連携による5種類の交流プログラムすなわち、①4大学間長期交換留学、②インテンシブプログラム(夏・冬)、③共同オンライン科目群の設置、④インターンシップ又は社会貢献活動及び⑤国際文化交流によって構成される。これらのプログラムにもとづいて、C⁶ubic Curriculumを共同で開発・運営する。カリキュラム所定の要件を満たし、6つのコアスキル*を修得したと認められる者に対して、国際共同副専攻である「Asian Liberal and Interdisciplinary Studies (ALIS)」の修了証、4大学連名・共通様式の成績証明書を授与する。

*Critical thinking, Collaboration, Communication, Consilience, Challenge, Cosmopolitan

【本事業で養成する人材像】

学生が学術的教養を修得し、深さと広がりのある知識や思考法にもとづいて、多様な他者と協働することで、アジア地域においては国際社会に山積する社会的課題の解決に取り組むことができる6つのコアスキル*を有する人材「アジア発未来共創型グローバルリーダー」を育成する。

【本事業の特徴】

創立以来リベラルアーツ教育を最も重視してきた本学をはじめ、リベラルアーツ教育を重視する4大学が地域間・大学間の垣根を越えて各大学の教育上の特長を活かして新たに多層的・相互補完的に連携することによって、これまでアジア圏においてみられなかった国際リベラルアーツ教育のカリキュラムと体制の構築を目指す点に本事業の最大の特徴がある。

【交流予定人数】

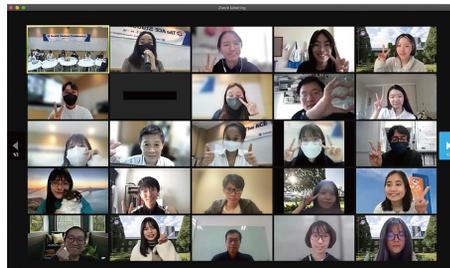
		2021	2022	2023	2024	2025
派遣	実際に渡航する学生	0	18	25	19	19
	自国にて国際教育・交流プログラムをオンラインで受講する学生	0	36	48	42	42
	実渡航とオンライン受講を行う学生	0	0	0	0	0
受入	実際に渡航する学生	0	7	14	26	28
	自国にて国際教育・交流プログラムをオンラインで受講する学生	0	15	36	60	58
	実渡航とオンライン受講を行う学生	0	0	0	0	0

1. 取組内容の進捗状況(令和3年度)

【リベラルアーツの高度化に向けたアジア4大学共同体—国際共同副専攻によるグローバルリーダー育成】
(採択年度 令和3年度)

■ 交流プログラムの実施状況

1. ウィンターインテンシブプログラム(オンライン)
 - 2022/2/14 基調講演、アイスブレイク
 - 2022/2/15-2/17 グループワーク
 - 2022/2/18 グループ発表



〈 ウィンターインテンシブプログラム参加者 〉

交流プログラムにおける学生のモビリティ

○ 日本人学生の派遣

2022年2月にオンラインによるウィンターインテンシブプログラム(2/14,2/18)を開催し、4大学よりそれぞれ学生5-6名が参加した(合計23名)。双方の国の往来が自由にできないため、オンラインによる学生交流となった。基調講演をヒントとした1グループ4名(計6グループ)のディスカッションとプレゼンテーションが行われた。

	R3	
	計画	実績
学生の派遣	0	6
学生の受入	0	0

○ 外国人留学生の受入

2021年度は当初の予定通り受入0名であったが、2022年8月には立教大学においてサマーインテンシブプログラムを開催し、ソウル、シンガポールより実渡航各6名、中国からの参加者6名をオンラインで受入予定である。本プログラムには、本学より9名の参加を予定している。

■ 質の保証を伴った大学間交流の枠組形成に向けた取組

2021年11月から定期的な4大学協議会を開催し、ルーブリックの開発を始め、国際共同副専攻の修了証、C⁶ubic Curriculumの開発の協議を継続して行い形成を目指している。いずれも日本国内にとどまらない国際的な通用性を目指した仕組み作りであり、この枠組みは韓国、中国、シンガポールおよび日本の大学において合図で協議されている教育内容の質保証に向けた取り組みである。



〈 ACE運営協議会 〉

■ 外国人学生の受入及び日本人学生の派遣のための環境整備

外国人学生の受入では、寮の手配や入国対応、出願システムの整備、渡航前後の手続きをまとめたポータルサイトの作成を通して、日本での生活イメージをしやすい環境を整えた。日本人学生の派遣では、12月に募集説明会を開始しその動画をイントラネットに掲載、質問サイトの構築など、常に本プログラムの情報を確認できる体制を取った。また本プログラム専任のコーディネーター及び嘱託職員を各1名配置することで、学生との連絡を密にとれる体制を整えた。

■ 事業の実施に伴う大学の国際化の状況 情報の公開、成果の普及

本事業については、専用のサイト(4言語)を立ち上げ情報を発信する体制を整えたほかに、学内広報誌や年次報告書による事業説明や展望を発信してきた。本学公式ホームページ上でも特集記事を作成し公式に発表するなど、2021年11月の採択から本学の取り組みについて順次、外部への発信を行った。

■ グッドプラクティス等

1. ACE運営協議会の設置による教育の質保証
2. 学生交流プログラムの本格的運用のための覚書の締結
3. C⁶ubic Curriculumのコア科目の協議進行中